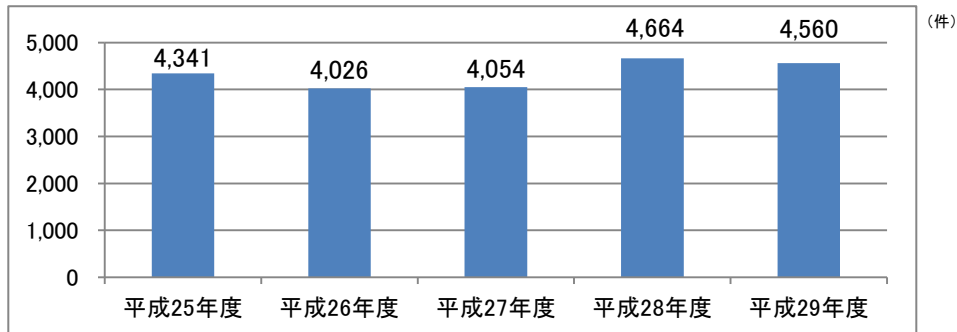


5 手術全身麻酔件数

○項目の解説

麻酔には、意識はあるが痛みを感じない状態にする局所麻酔と、呼吸管理のもと完全に意識のない状態で痛みを感じない状態にする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて、麻酔医や手術看護師などの負担は大きくなります。このため、全身麻酔件数は、手術部門の業務量を反映する指標となります。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

地域医療および高度先進医療を担っている当院では、4,000例を超える全身麻酔下による手術を施行しております。年々上昇を続けておりました全身麻酔件数ですが、平成26-7年度に4,000件程度に安定するかと思われましたが、平成28年度に過去最多数を更新し、平成29年度も4,500件を超える症例を施行しました。この症例の中には、最先端手術なども多く含まれており、高度な麻酔管理を必要とする症例が増えております。また、この件数を病床当たり換算した場合、全国国立大学病院の中でも、引き続き多い件数を維持しておりますため、地域医療と高度先進医療を担っている大学病院としての機能を十分に果たしていると評価しております。

○定義

手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。

○算式

実数